

これまでに当院で気胸と診断された患者さんへ

研究協力をお願い

国立病院機構東近江総合医療センター呼吸器外科では「本邦における気胸治療の実態調査：多施設共同後方視的研究」という臨床研究を行っております。この研究は前橋赤十字病院において行われている研究で、対象となる方の当院で既に保有している臨床情報を調査する研究であり、研究目的や研究方法は以下の通りです。情報等の使用について、直接に説明したうえでの同意はいただきず、このお知らせをもって公開いたします。対象となる方におかれましては、研究の主旨・方法をご理解いただきますようお願い申し上げます。

この研究への情報提供を希望されない場合、あるいは、研究に関するご質問は下記の問い合わせ先へご連絡ください。

以下の内容をご確認ください。

#### ①研究の概要について

この調査研究は東近江総合医療センター倫理委員会で審査され、病院長の承認を受けて行われます。

研究課題名：本邦における気胸治療の実態調査：多施設共同後方視的研究

対象調査期間：2019年4月1日～2020年3月31日の間に気胸と診断され、入院加療が行われた患者さん、もしくは他疾患で入院中の場合は同一入院期間内に加療が行われた患者さん。

研究機関・実施責任者：前橋赤十字病院呼吸器外科・井貝仁

当院における担当者：東近江総合医療センター呼吸器外科・大内政嗣

※本研究は日本気胸・嚢胞性肺疾患学会主導のもと行われます。

#### ②研究の意義、目的について

呼吸器領域において、原発性自然気胸、続発性自然気胸は遭遇する頻度が多い疾患です。しかしながら、その治療に関しては施設毎によって異なり、各々の病態に応じた適切な治療法が確立されているとは言い難いです。

この理由の一つとして、気胸に対する診療の実態が不明確であることが挙げられます。

日本気胸・嚢胞性肺疾患学会では以上のような状況を鑑み、ガイドラインや臨床研究のコントロールに役立つデータベースを構築する必要性を認識しており、学術委員会を中心に原発性自然気胸、続発性自然気胸の実態調査を行うことが望ましいと考えました。この研究を行うことにより気胸の診療における治療方略決定の助けになることを目的とします。

#### ③研究方法

今回の研究の対象はこれまでに当院で当該期間に気胸の治療を受けられた患者さんのカルテ（病歴，検査所見，処置内容，転帰）等です。過去のデータを使用する研究であり，新たな検査や費用が生ずることはなく，またデータを使用させていただいた患者さんへの謝礼等もありません。

④個人情報の取り扱いについて

使用するデータは個人が特定されないようカルテから抽出する段階で匿名化を行い，個人情報に関しては厳重に管理いたします。

⑤研究成果の公表について

日本気胸・嚢胞性肺疾患関連学会および学術誌で報告予定です。

⑥研究計画書等の入手または閲覧について

研究対象者の求めに応じて，他の研究対象者等の個人情報等の保護および当該研究の独創性の確保に支障がない範囲内で，研究計画書および研究の方法に関する使用を入手または閲覧できます。連絡先は下記を参照ください。

⑦利用または提供の停止について

今回のデータ使用について同意をいただけない場合には，2022年6月30日までに下記にご連絡ください。研究参加の撤回により研究対象者は不利益な扱いをうけることはありません。

⑧問い合わせ等の連絡先（当院）

国立病院機構東近江総合医療センター 呼吸器外科医長

当院における研究責任者：大内政嗣

TEL：0748-22-3030，FAX：0748-23-3383